

新刊音楽書籍情報

2016年4月1日 第245号 株式会社 音楽舎



この一瞬に価値がある～バルトロメイ家トウィーン・フィルの120年
フランツ・バルトロメイ著 坂本謙太郎監訳 坂本明美訳 音楽之友社 9784276217010 ¥2,200+税

ウィーン・フィルに120年、3代にわたって4人の音楽家を送り込んだ音楽一家バルトロメイ家を通して、ウィーン・フィル&ウィーン国立歌劇場史。ヨーロッパの音楽文化史、彼らが育ててきたウィーンの響きの謎を紐解く。著者は45年間ウィーン・フィル（国立歌劇場）に所属した名チェリスト。



リストとベーゼンドルファー・ピアノ 名器から生まれた名曲
久元祐子著 学研プラス 9784051541484 ¥1,500+税

至福のピアノニッシモ。19世紀からウィーンの香気と息吹を今に伝えるベーゼンドルファー・ピアノ。その豊かで歌うような響きと相性が良いリスト作品のセレクション。作曲家の愛器であったピアノの特長から名曲にアプローチし、具体的な演奏法を解説する画期的な1冊。作曲家の想いを現代に甦らせ、当時の香気高い知的で魅力あふれる演奏をめざしてみませんか。



映画音楽太郎主義 サウンドトラックの舞台ウラ
岩代太郎著 全音楽譜出版社 9784118802336 ¥2,000+税

映画音楽はどのようにして作られるのか？『レッドクリフ』『許されざる者』『殺人の追憶』などの映画やNHK大河『葵～徳川三代』、連続テレビ小説『あぐり』など、数多くの音楽を手がける作曲家・岩代太郎による、はじめての映画音楽本！第一部では、制作の裏側を明かし、第二部では「作曲家×映画監督」として12人の監督との対談を通して、映画音楽の捉え方などをあかす。



音楽論
白石美雪著 武蔵野美術大学出版局 9784864630504 ¥2,700+税
人はなぜ歌い、踊り、奏でるのか。音楽文化、現代音楽、世界音楽という三つの視点から常に人とともにある音楽的事象を読み解き、比較し、思考する。



音楽指導ブック 音楽づくりの言葉がけ
平野次郎著 音楽之友社 9784276321625 ¥2,200+税

音楽科の表現領域の一分野「音楽づくり」は、実りある音楽教育を実現する可能性を秘めているが、まだまだ開発の余地が多い。本書は「何を教えるか」よりも「この授業をどう進めるか」という指導法を中心に捉え、臨場感あふれるレポート形式で紹介。教師がどう指導したらよいか、そのコツを抽出していく。



ナチュラル 自然と音楽
エマニュエル・レベル著 西久美子翻訳 アルテス 9784865591408 ¥1,800+税

ゴールデンウィーク恒例、クラシック音楽の祭典『ラ・フォル・ジュルネ 2016』オフィシャルブック！映画や文学への造詣も深い気鋭の音楽学者が、自然への愛、信仰、畏怖を糸口に、西洋音楽の本質にせまった知的冒険の書。



クラシックのからくり
舟橋三十子著 ヤマハ 9784636916959 ¥1,700+税

音楽のからくりがわかれば感動の仕組みが理解できる！クラシック音楽って、難しい？そのように思っている方も、構造や仕組みを知れば、あっという間に”感動の仕組み”まで理解できる。構造から楽曲を見ると、今まで聴こえなかった音が聴こえてくる！



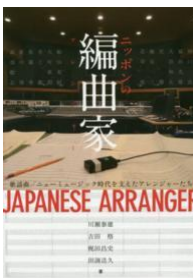
マイケル・ジャクソンの思想
安富歩著 アルテス 9784865591385 ¥1,600+税

ムーンウォークはなぜ「ビリー・ジーン」で披露されたのか？マイケルはなぜ舞台上で泣くのか？マイケルの最高傑作はなにか？…数々の大ヒット曲に潜む謎に挑んだ著者は、ガンディーやチャップリンに匹敵する危険で深遠な思想を発見する。スリリングかつ啓示にあふれる画期的なMJ論の登場です。

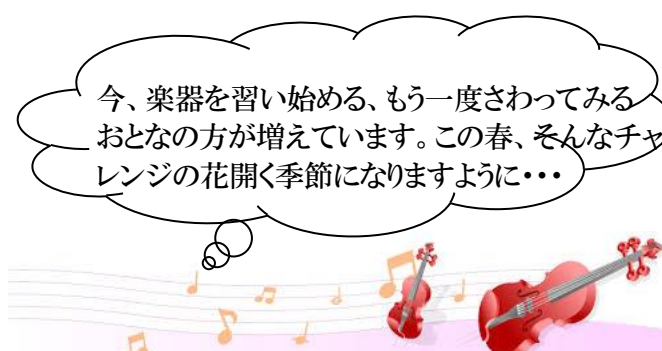


アメイジング・グレイス 魂の夜明け
神渡良平著 廣済堂出版 9784331520147 ¥1,800+税

黒人奴隷貿易船の船長だったジョン・ニュートンは、公開と苦悩の末に船を下り、人間の尊厳を取り戻した時、それでも輝き続けた魂の旋律を描く。



ニッポンの編曲家
DU BOOKS 川瀬泰雄・吉田格著 ¥2,300+税



* 取り寄せにお時間をいただく商品もございます。ご相談ください。

音楽舎
〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4丁目8-6
TEL: 054-265-2930 FAX: 054-265-2932
MAIL: info@ongakusha.net
カラー版が見れます♪ URL: http://ongakusha.net/